

## 令和8年度 県立大子特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像		◆持続可能で・・・安全・安心な環境を確保し、災害や社会の変化に柔軟に対応できる力を育む学校 ◆選ばれる・・・地域の特別支援教育の中核として、質が高く魅力のある教育環境を提供し続ける学校 ◆地域とともにある学校・・・コミュニティスクールを活用し、地域づくりと学校づくりをともに進める学校					
昨年度の成果と課題		重点項目		重点目標		達成状況	
1 「学びがい」の推進 (成果)個別最適な指導と体験を活かした横断的な学びが図られた (課題)児童生徒が「できた」という場面づくりの設定の工夫 2 「働きがい」の推進 (成果)生徒支援にかかる動向を学校として共有した (課題)危機管理についての定期的な訓練と見直し 3 「頼りがい」の推進 (成果)情報発信と教育相談の充実 (課題)地域連携体制構築事業の円滑な立ち上げと情報共有 4 「生きがい」の推進 (成果)PTAレクリエーションの新規実施 (課題)特体連の担当校として、事業運営体制を整備し、関係校との円滑な分担	1. 「学びがい」の推進		①個に応じた学びの実現 ②体験と教科が関連づいた、教科等横断的で学びやすいカリキュラムの実現 ③業務改善を進め、AI・ICTの効果的な活用の推進(働き方改革)				
	2. 「働きがい」の推進		①組織的・継続的な支援体制のもと、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底するとともに、不登校児童生徒への切れ目のない支援の充実を図る ②地域社会と関わる学びを通して、豊かな心を育むとともに、自立と社会参加に必要な力の育成 ③服務規律の確保と規範意識の高揚(コンプライアンス確保)				
	3 「頼りがい」の推進		①学校危機に対応できる環境整備と「もし活」(防災教育)の充実 ②地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮 ③健康・安全な生活を支える保健・給食指導の充実				
	4. 「生きがい」の推進		①健康で豊かな生活を送るための生涯スポーツの推進 ②生活の質の向上と余暇の充実につながる文化・芸術活動の充実 ③PTAの理解のもと、防災教育(もし活)の推進と家庭・地域への普及				
評価項目	具体的目標	具体的方策			重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	地域と関わり主体的な防災知識・技能の向上	① 教育課程に防災学習を位置づけ、教職員が組織的に取り組む ② 教育課程全体を通して、防災教育・体験活動・教科等横断的な授業を実施する			1-② 3-① 4-③		
教職員の 育成及び 指導・監督	教職員の指導力向上。いじめ防止と心のケア	① 校内研修で効果的な指導方法を学び、授業観察を通して改善点を共有 ② いじめ、不登校への早期発見対応と心のケアでの生徒支援を行う			1-① 2-① 3-③		
対外活動	地域と連携した社会参加 防災教育の実施 地域資源・人材リストの作成	① 学校運営協議会委員と連携をした防災教育の実施 ② 近隣小学校と連携・協働学習を実施する ③ 学校運営協議会委員を活用した地域資源・人材の紹介			2-② 3-① 3-② 4-② 4-③		

コンプライアンス確保	教職員の不祥事ゼロ	不祥事情報の共有。「隠さず・ためらわず・すぐ報告」の意識	2-③		
働き方改革	勤務時間外月 45 時間以上の教職員ゼロ	在校時間が長い教職員と話し合い、改善策を一緒に考える	1-③ 4-①		
I C T活用	AI・ICT の効果的な活用	AI・ICT に関する研修会と活用事例の報告会を行い共有する	1-③		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない